

## 肝胆膵内科を受診している患者さんへ

当科では、下記の研究を実施しています。この研究は、愛知医科大学医学部倫理委員会において、ヘルシンキ宣言の趣旨に添い、人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針等を遵守し、医の倫理に基づいて実施されることが審査され認められた研究です。

今回の研究は、対象となる患者さん一人ずつから直接同意を得て行う研究ではなく、研究内容の情報を公開し、研究対象者となることを拒否できる機会を与えることが求められているものです。もし、この研究に関するお問い合わせなどありましたら、以下の「問い合わせ先」までご連絡ください。

### 記

研究課題名	胆管金属ステント留置後の急性胆嚢炎に対する超音波内視鏡下経鼻胆嚢ドレナージの有用性の検討
研究機関名及び研究機関の長 (試料・情報の管理責任者)	愛知医科大学病院 病院長 道勇学
研究責任者	内科学講座(肝胆膵内科) 講師 井上匡央
試料・情報の利用目的及び利用方法	<p>〔利用目的〕</p> <p>切除不能悪性胆管狭窄に対する金属ステント留置後の急性胆嚢炎における、超音波内視鏡下経鼻胆嚢ドレナージの治療成績を明らかにすることを目的としています。</p> <p>〔対象となる患者さん〕</p> <p>2014年1月以降研究期間(2025年1月迄)内に、切除不能悪性遠位胆管狭窄に対して金属ステントを留置され、かつ急性胆嚢炎を発症し超音波内視鏡下経鼻胆嚢ドレナージを施行された患者さん。</p> <p>〔研究期間〕</p> <p>研究実施承認日 ~ 2025年3月31日</p> <p>〔利用方法〕</p> <p>診療録(カルテ)から、当該治療に関する情報を収集し検討を行います。具体的には病名や臨床経過、内視鏡検査、CT検査、X線検査などの画像所見や血液検査所見などの項目を参照させていただきます。利用する情報から、お名前、住所など個人を特定できる個人情報は削除して利用します。また研究の結果が学会や医学論文などで公表される場合がありますが、患者さん個人を特定出来るような情報は一切含まれません。</p> <p>研究計画や研究の方法についての資料を入手・閲覧することを希望される場合は担当医師にその旨をお伝えください。個人情報保護やこの研究の実施に支障を来さない範囲で提示いたします。</p>
利用又は提供する試料・情報の項目	情報：診療録に記載された情報、血液検査結果、画像データ等
試料・情報の提供を行う機関の名称及び	【非該当】

その長の氏名	
提供する試料・情報の取得の方法	【非該当】
提供する試料・情報を用いる研究に係る研究機関名・研究責任者名	【非該当】
利用する者の範囲	【非該当】
試料・情報の利用又は提供を希望しない場合	本研究への情報の利用又は提供を希望しない方は、2025年3月31日までにお電話により下記問い合わせ先まで申し出てください。ただし、情報解析前で情報が個人を識別できる場合のみ対応可能です。
問い合わせ先	愛知医科大学 内科学講座（肝胆膵内科） 担当者：（職名）講師 （氏名）井上匡央 〒480-1195 愛知県長久手市岩作雁又1番地1 電話 0561-62-3311（内線 23480）